

日光にて

5月30日（火）、31日（水）、6年生と日光宿泊体験学習に行ってきました。

学校から出発するときには雨がちらついていましたが、日光は快晴で、気持ちの良い青空でした。華嚴の滝、男体山、湯滝など壮大な自然の美が、青空に映えていました。

華嚴の滝駐車場に降り立つと、耳慣れない音が響き渡っていました。田園地帯だったらカエルの声？と思うような音だったのですが、滝の周辺では違うかな、と思っていました。華嚴の滝エレベーターの職員の方に、「エゾハルゼミ」という春のセミの声であると教えていただきました。もとは北海道の方にいる、春に鳴くセミなのだそうです。その後、昼食を食べた戦場ヶ原の三本松園地、湯滝の駐車場でも、同じセミの鳴き声が響いていました。

宿泊先の晃陽苑は、今年度からお世話になっています。軒先にたくさんのツバメがつくられていて、盛んに鳴きかわし飛び交っていました。

2日目輪王寺、東照宮、大猷院の見学では、たぐいまれな人工の美、匠の技を堪能してきました。手間暇を惜しまず造られた他にない造形に、6年生は圧倒されていた様子でした。階段が多いのにはいささか疲れ気味でしたが…。

2日間元気に過ごし、豊かな体験学習を終えていました。

